

第52期

株主通信

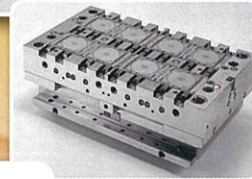
2016年12月期
(2016年1月1日～2016年12月31日)

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
2016年12月期の株主通信をお届けいたします。

企業理念

「技術は命」「良品は力」「誠意は道」

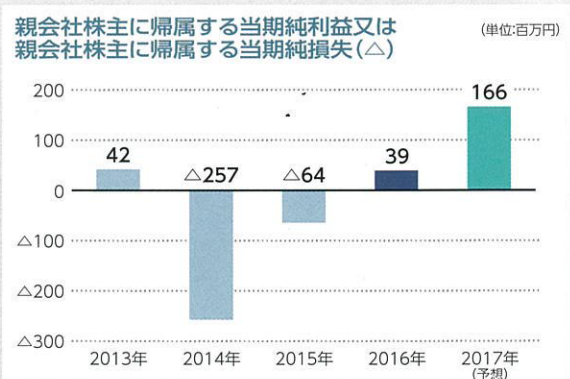
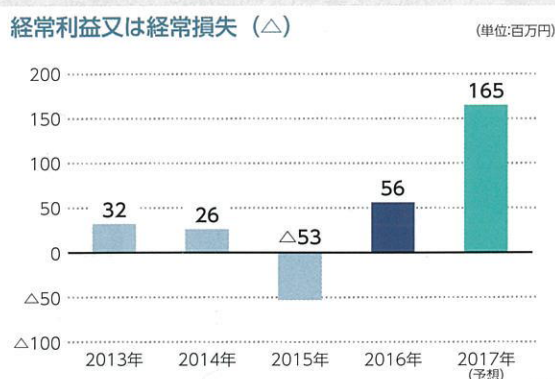
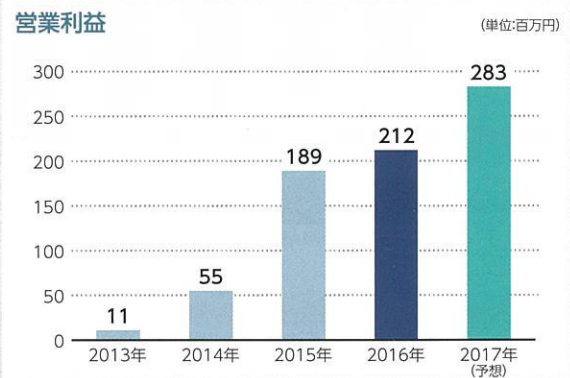
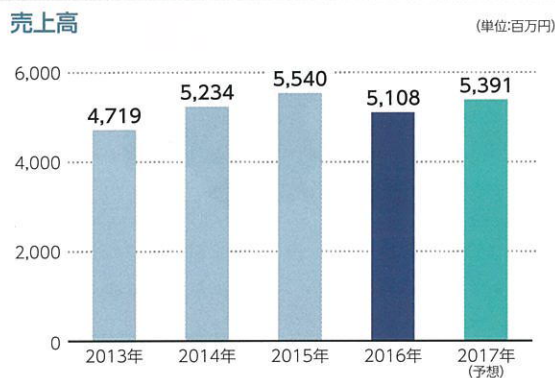


不二精機株式会社

証券コード: 6400

PRODUCT MOTHER

連結財務ハイライト



概況

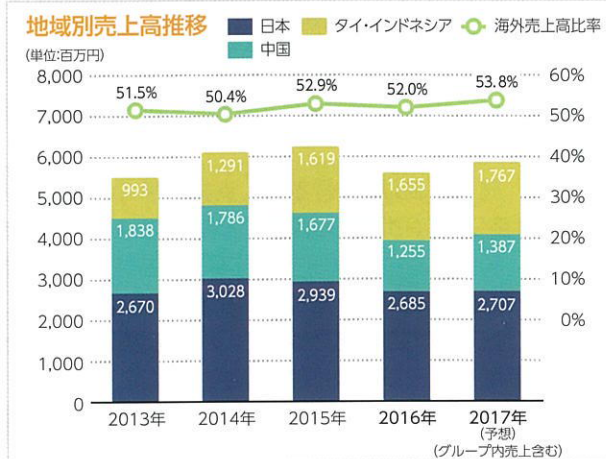
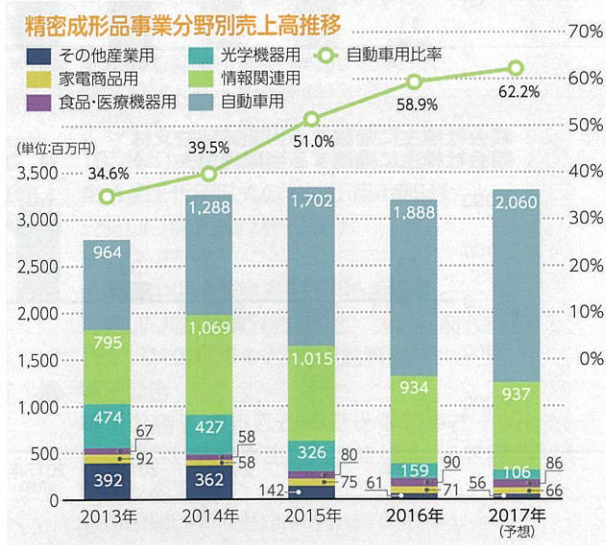
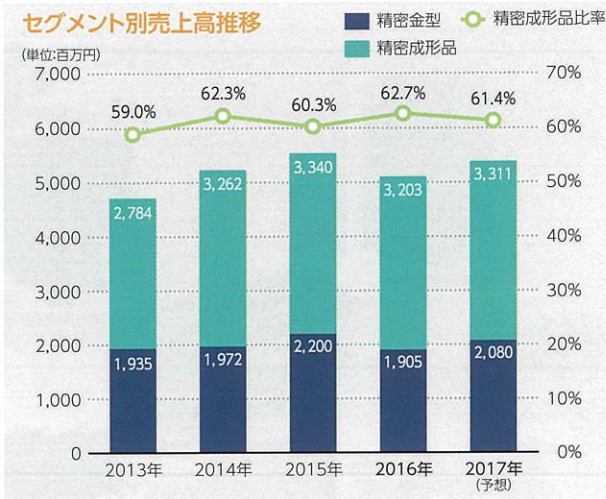
当社グループの2016年度の連結売上高は、精密成形品事業で自動車部品を中心にタイ、インドネシア市場で順調に拡大し、前期比1億43百万円増加しました。精密金型事業では中国市場で発生した医療機器関連製品の一時的な減少の影響で、前期比1億82百万円の減少となりました。また、期中に発生した円高(中国元、タイバーツ、インドネシアルピア)により円換算額が、前期比3億93百万円減少しましたので円換算の売上高としては、前期比4億32百万円減の51億8百万円となりました。

営業利益は、精密成形品事業でインドネシア子会社の黒字転換もあり、前期比23百万円増の2億12百万円となりました。

経常利益は、為替差損・支払利息の減少があり、前期比1億9百万円増の56百万円となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益は、経常利益の増加などにより、前期比1億3百万円増の39百万円となりました。

2017年度は、自動車関係の精密成形品の売上拡大と原価構造の改革により増収増益を目指してまいります。



セグメント別

当社のベースとなる精密金型技術を活用した精密成形品セグメントの売上高比率は、60%を超えて推移しております。

精密金型セグメントでは医療用品関連分野・食品容器関連分野を中心に付加価値の高い受注に集中し安定的な推移を目指しております。

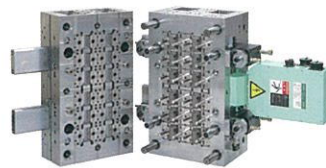
今後の売上拡大は、精密成形品セグメントで品質管理・原価管理体制の整備を計画的に実行し、自動車関連部品を中心に着実に進めることを目指しております。

精密金型事業分野別

精密金型の売上は、日本の金型市場の縮小を想定し、医療用品関連分野・食品容器関連分野へのさらなる集中を進めております。

中国市場の開拓も進め、技術的な差別化による安定的な受注の確保と原価構造の改革で利益率の改善を目指しております。

【注射器用金型】



精密成形品事業分野別

長期的安定生産につながる自動車部品(2輪・4輪)分野の拡大に集中し、利益率向上の課題である年間平均稼働率を高めることにより、利益率の改善および利益額の確保を目指しております。

【2輪車用 燃料噴射部品】



地域別

タイ・インドネシア、中国子会社での海外売上高の比率は、50%を超えて推移しております。

中期的に売上高は、市場の縮小が想定される日本市場では横ばい、中国市場では投資リスクを抑え現有設備を有効活用し安定化、東南アジア市場では自動車関連の精密成形品を中心に受注増加もあり、生産設備の拡充を進めながら着実な拡大を目指しております。

インドネシア営業損益黒字化



タイの顧客からのインドネシアでの現地生産化の要請により、2012年10月に設立し、2013年10月に操業を開始いたしましたインドネシア子会社 PT. FUJI SEKI INDONESIA は、2輪車用燃料噴射部品製造を中心に稼働率を高め、2016年度の売上高は、前期比63百万円増の5億11百万円となり、営業損益の黒字化を達成いたしました。

今後、品質管理・原価管理体制の整備による原価低減、安定生産をさらに進めるとともに、受注拡大に伴う設備投資を順次実施し、当期純利益の早期黒字化を目指してまいります。

配当再開(復配)

ー配当再開までの道のりー

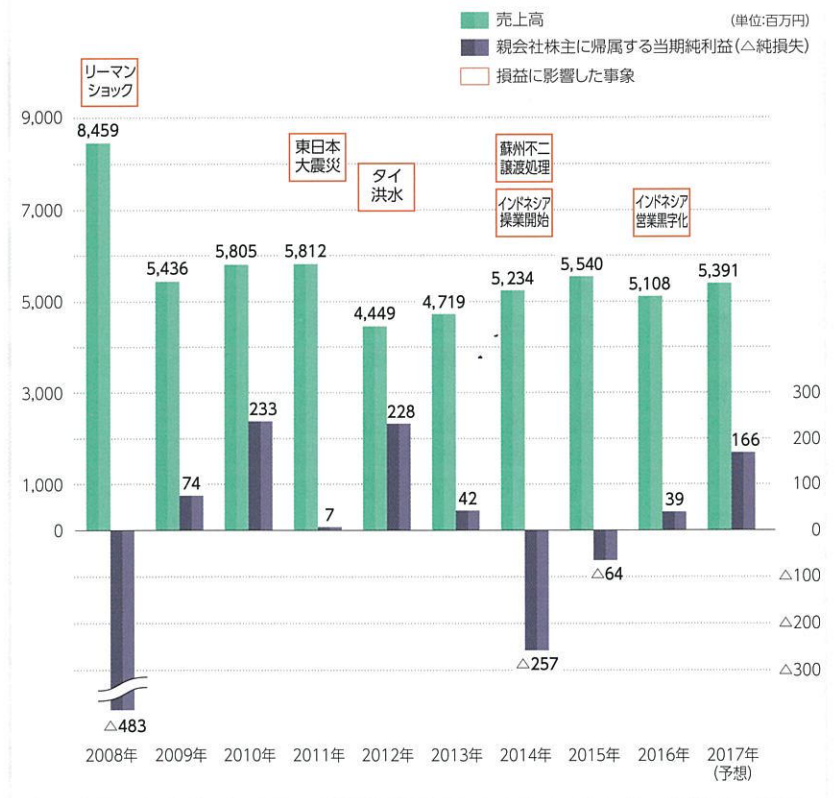
【外部要因】

- ◆2008年のリーマンショック
 - ・急激な円高による為替差損発生
(為替差損2億93百万円)
- ◆2011年の東日本大震災
 - ・日本国内の金型市場激減
- ◆2011年のタイ洪水
 - ・アユタヤ工場の機械設備全損
(アマタナコン工場への移転、操業再開)

【当社施策】

- ◆2014年の中国蘇州子会社処理
 - ・赤字子会社を外部へ譲渡
(処理損2億43百万円)
- ◆インドネシア子会社
 - ・2012年 設立
 - ・2013年 操業開始
 - ・2016年 営業損益黒字化達成

リーマンショック以降の売上高・親会社株主に帰属する当期純利益(△純損失)の推移



《配当再開に向けて》

当社は、株主への利益還元と将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、連結損益の実績を考慮した上で安定した配当を継続することを基本方針としております。

インドネシア子会社の営業損益の黒字化を達成し、グループ全体の業績が今後安定化する方向でありますので、2004年12月期以来となる配当(1株当たり3円)を実施させていただきます。

さらに経営基盤の強化に努め、外部環境の変化に対応できる企業を目指してまいりますので、株主の皆様には、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■ 会社概要 (2016年12月31日現在)

商号	不二精機株式会社 FUJI SEIKI CO., LTD.
設立	1965年7月1日
資本金	5億円
従業員数	112名
事業所	本社・松山工場・関東営業所
主な事業内容	プラスチックを加工するための射出成形用精密金型及び成形システムの製造・販売 精密成形品その他の製造・販売

■ ネットワーク (2016年12月31日現在)



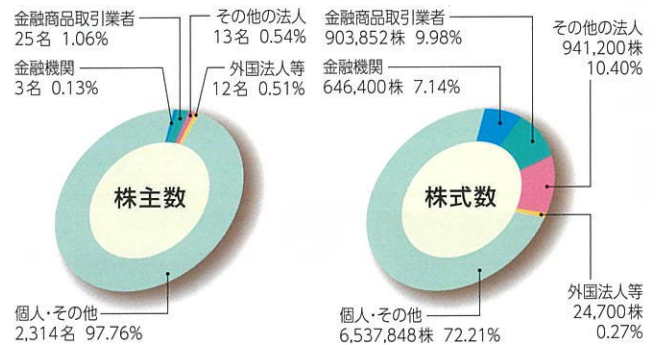
■ 役員 (2017年3月28日現在)

代表取締役社長	伊井剛
取締役副社長	宮崎正巳
専務取締役	山本幸司
取締役(社外)	高橋秀昭
常勤監査役	菅一明
監査役(社外)	梅田浩章
監査役(社外)	橋本豊嗣

■ 株式の状況 (2016年12月31日現在)

発行可能株式総数	23,720,000株
発行済株式の総数	9,054,000株
株主数	2,367名

■ 株式所有者別状況 (2016年12月31日現在)



株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月下旬
基準日	定時株主総会 毎年12月31日 期末配当 毎年12月31日 中間配当 実施する場合は6月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
公告方法	電子公告 電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載URL http://www.fujiseiki.com/

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

ホームページでも、当社の会社情報や最新のIR情報などがご覧いただけます。

<http://www.fujiseiki.com/>

